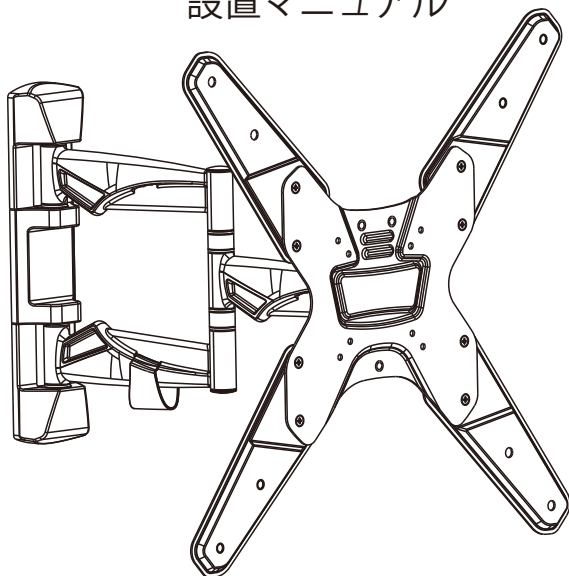


壁掛け VESA 規格金具
TV セッターアドバンス

MR113 S/M

設置マニュアル



この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。
当商品は、DIY(日曜大工)が得意な方でしたら、慎重に作業すれば設置可能です。
しかし、組立・取り付けの不備による事故について保証はございませんので、作業に際しましては十分にご注意くださいますようお願い申し上げます。
基本的には、お近くの内装業者・電設業者へ依頼をされる事をお勧めします。



組立不良・取り付け不良、および天災等による事故・損害については、一切の保証はございませんので、ご了承ください。

- ・安全性を十分に考慮し、設置中に怪我や部屋にキズを付ける事の無いよう注意下さい。
- ・設置にあたっては、十分な作業スペースを確保してください。
- ・取り付け工事は2名以上で行うことを強く推奨いたします。
- ・テレビの壁掛け以外のご使用、部品の改造等はしないでください。
- ・設置中に少しでも不安を感じた場合は、作業を中断し、お近くの内装業者・電設業者に相談ください。

設置にあたって：必ずお読みください

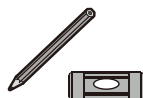
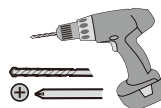


- 必ず耐荷重強度のある壁や壁裏の間柱(スタッド)にしっかりと設置してください。無理な設置はテレビの落下、大怪我に繋がります。石膏ボード壁のみへの設置はお止めください。
- コンクリートやレンガ壁に設置する場合、専門業者に依頼するようにしてください。
- 電源コードや配線にキズを付ける事の無いようにご注意ください。火災などの原因になります。
- 設置の際は、テレビや周辺機器の電源をコンセントから抜くようにしてください。
- 以下の場所には設置をしないでください。
 - ・振動があるような不安定な場所
 - ・人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
 - ・湿度や温度の高い場所
 - ・テレビの通気が悪い場所(エアコンの側、天井のすぐ側等)
 - ・開閉するドアの側
 - ・その他、テレビ設置に不適格だと思われる場所



設置にあると便利な道具

- 1) 間柱センサー
壁裏にある間柱を見つけるのに便利です。
細い針(検知針)やキリを壁に刺して代用する事も可能です。
- 2) ドライバー
ネジ頭のサイズに合わせて、数種類があると便利です。
- 3) ドリルドライバー
電動ドライバーです。壁のネジ穴の下穴を開けるのにも使えます。
- 4) 水平器
壁に金具を取り付ける際に水平になっているかどうかを確認します。
- 5) ペン
壁にネジを打ち込む位置をマーキングします。
- 6) メジャー
床からの距離を測ったり、金具の水平を取る時などに使用する場合があります。
- 7) 柔らかい布
設置の過程で、床などにテレビを置く事になります。下に敷いてテレビを保護します。
- 8) 軍手
手を保護します。テレビを持つ時は滑らないように素手が良いかもしれません。



さあ、設置・・・の前に

- 設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

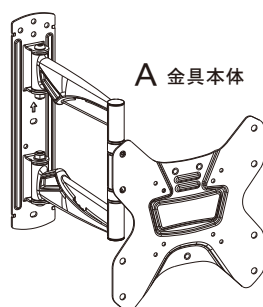
取り付け前提条件	テレビ背面对応ネジ穴幅	対応テレビインチ	最大テレビ重量
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事	テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 75×75mm、 100×100mm、100×200mm、 200×200mm、200×400mm、400×400mm	26-55 インチ	15kg

- 設置に必要なネジ類は付属しています。しかし壁の状態によっては若干細く短いネジがあると作業がし易い場合があります。その時はホームセンター等でご用意下さい。

付属部品リスト一覧

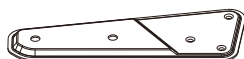
以下の部品が全て揃っているかをご確認ください。もし足りない部品がある場合、ご購入店にご連絡ください。

●テレビ金具本体

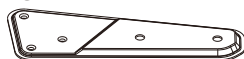


A 金具本体

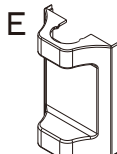
B 延長アダプター ×2 枚



C 延長アダプター ×2 枚



D プラスティック
カバー(上下)
2 個



E プラスティック
カバー(中)



F ケーブル
ホルダー



G M6 皿ネジ 8 本



H 六角レンチ

●以下のネジについては別途透明の袋に同梱しております



M4×14mm ボルト
4 本



M4×25mm ボルト
4 本



M5×25mm ボルト
4 本

●ネジパッケージM(ネジ袋にナンバリングがしてあります)

テレビと金具の接合に使用する部品です。すべての部品を使用するわけではありません。

M-A



M5×14mm ボルト
4 本

M-B



M6×14mm ボルト
4 本

M-C



M6×30mm ボルト
4 本

M-D



M8×30mm ボルト
4 本

M-E



M8×50mm ボルト
4 本

M-F



M5× ワッシャー
4 個

M-G



M8× ワッシャー
4 個

M-H



小さスパーサー
8 個

M-I



大スパーサー
8 個

●ネジパッケージW(ネジ袋にナンバリングがしてあります)

壁に金具を取り付ける際に使用する部品です。すべての部品を使用するわけではありません。

W-A



6.3×55mm 壁用ラグボルト : 4 本

W-B



コンクリート壁用アンカー : 4 本

※使用しないで
ください

W-C



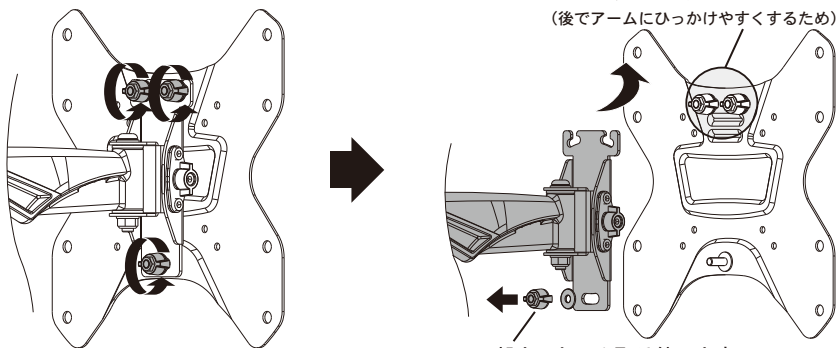
壁用ワッシャー : 4 個

※壁の状態によって、別のサイズや種類のネジがあると作業がしやすい場合があります。その際はホームセンター等でご相談ください
※コンクリートやレンガ壁への設置は、難易度が高い施工になります。お近くの内装業者等の専門業者に依頼してください。
個人での設置は絶対に行わないようにしてください。

ステップ1 金具本体からテレビブラケットの取り外し

金具本体から3点のナットを反時計回りにまわしてテレビブラケットを取り外してください。

上部ナットは緩めるだけで取り外しません。
(後でアームにひっかけやすくするため)

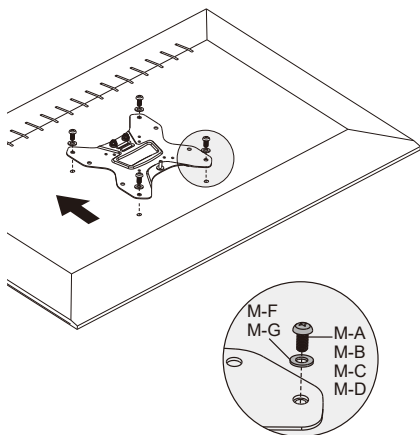


下部ナットのみ取り外します。

ステップ2-A テレビブラケットの取り付け

ステップ1で取り外したテレビブラケットをテレビに取付けます。

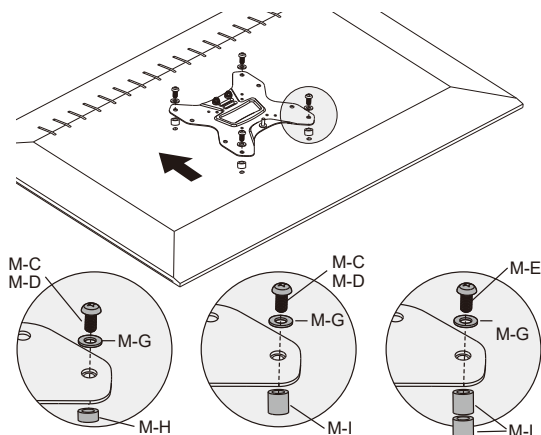
●通常の設置



上記イラストを見て、金具の上下を間違えないようにしてください。

ネジ穴を合わせて、[M-A～M-D]とワッシャー [M-E、M-F]で取り付けをします。

●ネジの長さが余ってしまう際の設置 (M-C、M-D、M-E ネジ使用時)



上記イラストを見て、金具の上下を間違えないようにしてください。

[M-C、M-D、M-E]を使用してネジの長さが余ってしまう場合、上図を参考にしてスペーサー [M-H、M-I]を金具とネジの間に挟んで取り付けてください。

※ネジ穴の深さより長いネジを使用するとテレビ内部の基盤を破損する恐れがあります。ご注意ください。



ご注意

- 1) ブラケットの上下を間違えないように注意してください。
- 2) ワーネジが合わない場合、取り付け可能テレビ (VESA 規格対応) で無い事になります。お取付けができませんので設置作業を中止してください。

ステップ 2-B

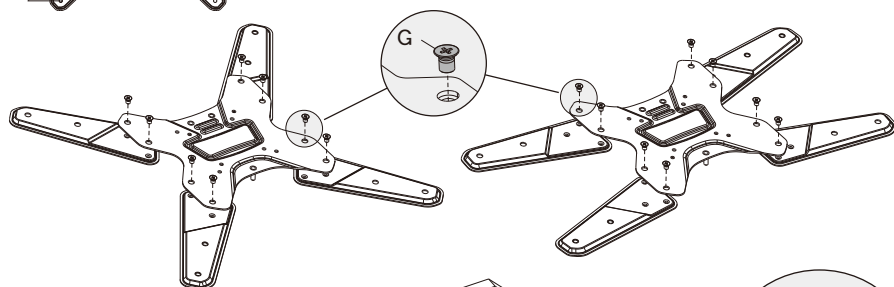
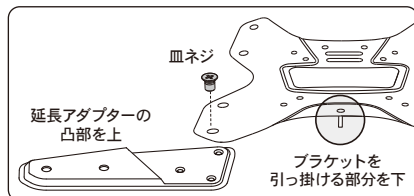
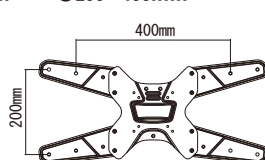
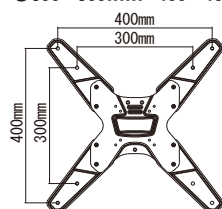
延長アダプターを使用する場合

テレビ背面のネジ穴が VESA300×300mm、200×400mm、400×400mmの場合、

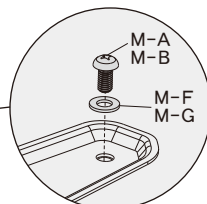
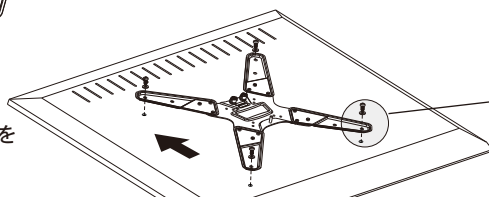
延長アダプター [B、C] を使用します。図を参考に M6 皿ネジ [G] で延長アダプターをネジ止めてください。テレビブラケットと延長アダプターの表裏に注意して、図をよく見てネジ止めてください。

●300×300mm・400×400mm

●200×400mm

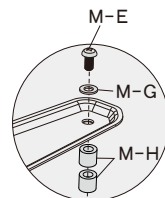
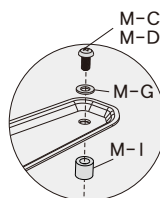
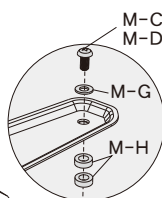
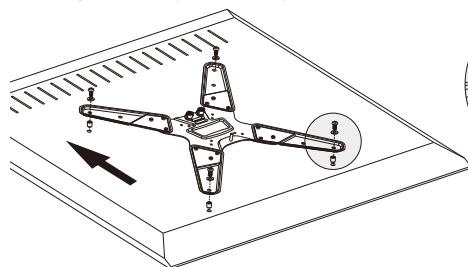


図を参考にして
テレビにブラケットを
ネジ止めます。



ネジの長さが余ってしまう場合・テレビ背面に段差がある場合

長いネジを使用してネジの長さが余ってしまう場合、下図を参考にして各種スペーサー [M-H、M-I] を組み合わせ、金具とネジの間に挟んで取り付けます。



各図を参考にネジの長さに合わせてワッシャーと各種スペーサーを組み合わせで取り付けます。

※ネジ穴の深さより長いネジを使用するとテレビ内部の基盤を破損する恐れがあります。ご注意ください。



ご注意

- 1) ブラケットの上下を間違えないように注意してください。
- 2) 万一ネジが合わない場合、取り付け可能テレビ (VESA 規格対応) で無い事になります。お取付けができませんので設置作業を中止してください。

ステップ3

壁の強度の確認と下穴の準備



テレビ壁掛けの最重要ステップです。

取り付けは慎重・確実に作業するようにしてください。

壁面への取付不備による事故・損害、及び施工中に付くキズ・破損等については、一切の保証がありません。少しでも不安に感じたら、お近くの内装業者・電設業者に相談してください。

●壁の構造について(必ず耐荷重のある壁への設置を！)

設置は補強のある壁、もしくは壁裏の間柱(スタッド)に行ってください。石膏ボード壁の場合、ボードのみの部分にネジ打ちする事の無いよう、十分にご注意ください。壁裏の間柱を見つけるにはホームセンター等で売っている壁裏センサー(1500円程度)やキリを更に細くした検知針が便利です。

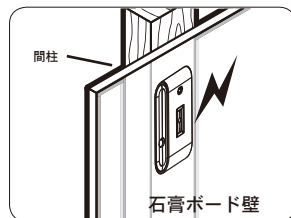
●間柱を見つけたら

間柱を発見した場合、間柱の「中央」にネジを打つ必要があります。間柱の端にネジを打つと強度が不十分だったり、間柱が割れてしまう事もあるので注意しましょう。詳しくはセンサーや検知針の説明書をご覧ください。

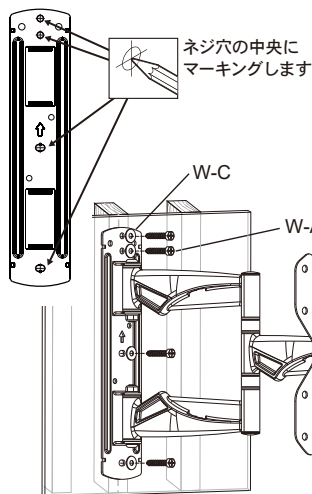
●コンクリートやレンガ壁について

コンクリートやレンガ壁への設置は、難易度が高い施工になります。お近くの内装業者等の専門業者に依頼してください。個人での設置は絶対に行わないようにしてください。

石膏ボード壁は間柱に！



- 一般的石膏ボード壁の場合
壁裏センサーを使用して間柱を見つける。
キリ等を使う場合、何度か刺して柱の中央を見つけましょう。



1) 設置位置の確定

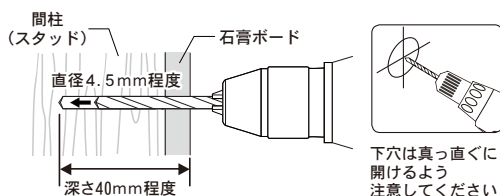
現在の主流である石膏ボード壁の場合、ステップ2を参考に壁裏の間柱(スタッド)を見つけてください。

間柱は一般的に40～45センチ幅で設置されている事が多いようです。ご参考ください。

間柱が確定したら、左図のようにネジ穴にマーキングをします。

2) ネジ打ち用下穴の開口

壁を横から見た断面図(左)を参考にして、ネジ打ち用の下穴を開けます。電動ドリルがあると便利です。壁にキズをつけますので慎重に作業を行ってください。



3) 金具の壁面への取り付け

左図を参考に6.3×5.5mmラグボルト[W-A]とワッシャー[W-C]を使用して金具を壁面にしっかりと打ち付けます。



最重要ポイント

ネジ打ち後、少しでも違和感を感じたら(ネジの空効き等)設置を中断し、専門業者に相談してください。

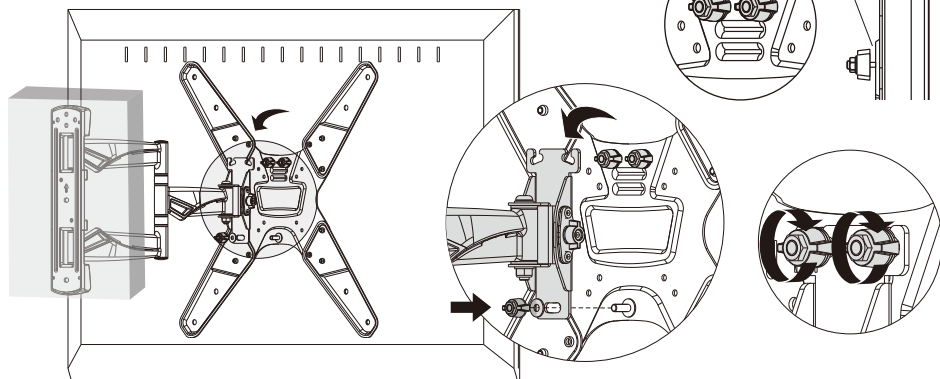
ステップ4 テレビブラケットと金具本体の組み立て



二人での作業推奨

図を参考に、テレビをアーム部に引っかけます。
この段階ではまだテレビは固定されていませんので、落下が無いように十分に注意してください。下部のナットでアームに固定後、3 点のナットを均等に締めてください。

上部ナットを 4 mm 程度緩めて、大人二人以上で金具本体をテレビブラケットにひっかけます。



3 点のナットをしっかり留めます。



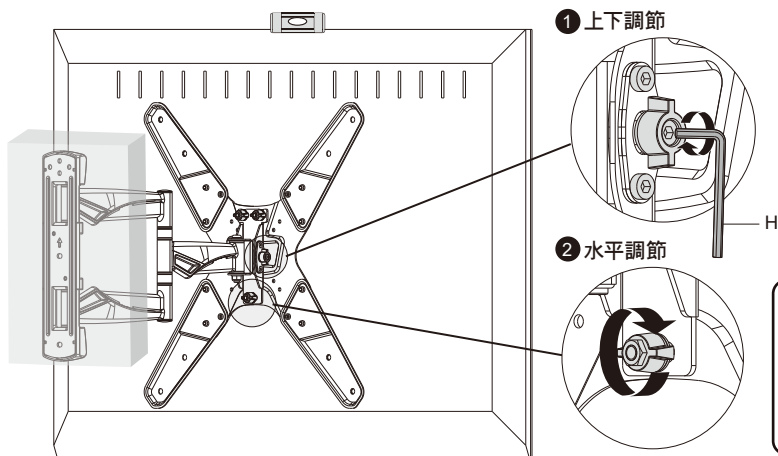
最重要ポイント

ナットを締めていないこの段階では、テレビの落下が無いよう細心の注意を払ってください

ステップ5

角度調整～上下及び水平

- ① テレビの上下角度(うつむきの調整)：六角レンチを使用してバランスよくしっかり固定してください
- ② テレビの水平調整：六角レンチと別途水平器を使用して、テレビの水平を取ってください。



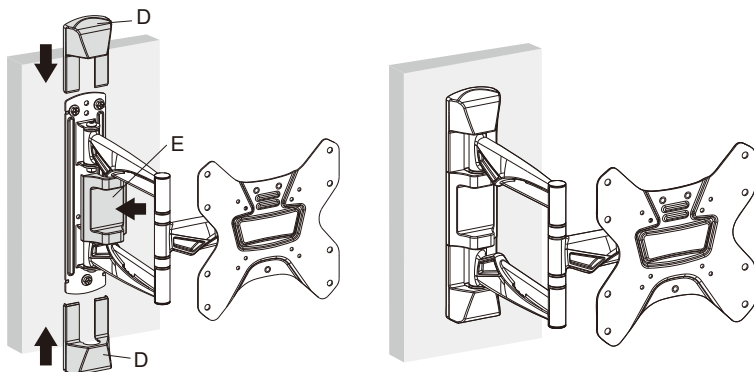
ご注意

過度の力でナットのネジ山をつぶさないでください

ステップ 6 プラスティックカバーの取り付け

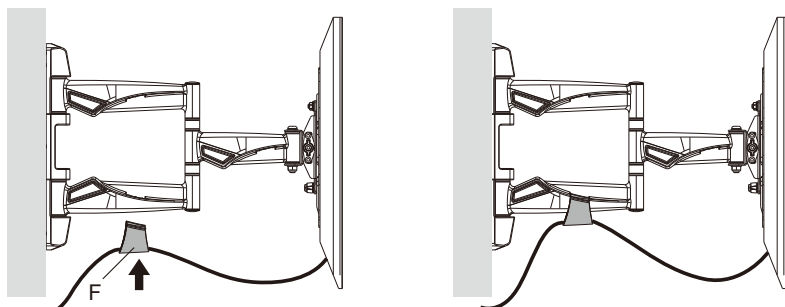
図を参考に上下・中央のプラスチックカバーを取り付けます。

メンテナンスを考慮して比較的外れやすくなっていますので、ツメがはまるまでゆっくり押し込んでください。



ステップ 7 ケーブルホルダーの活用

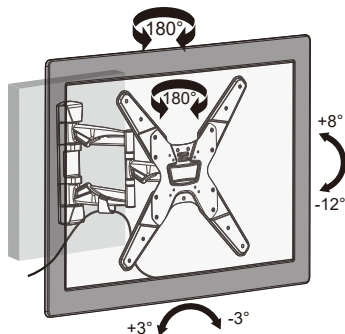
ケーブルホルダーをアームの下部に取り付けます。



カバーの向きに注意してアームの溝にカバーを押し込んでください。

ステップ 8 取り付けの終了と確認

取り付け部分や壁面部ガタつき等が無いが、全体をしっかりと確認してください。



ご注意

設置後の定期確認について

各取り付け部分や壁面部にガタつき等が無いかチェックをしてください。

緩みがあった場合は、しっかりと締めなおしましょう。少しでも違和感があった場合、テレビをいったん取り外し、専門業者に相談してください。

これらのチェック作業は3ヵ月に程度を目安に定期的に行い、経年使用による落下などが無いように注意してください。